


2023年12月期
第3四半期
決算説明資料



2023年11月22日
株式会社やまびこ



INDEX

1. 2023年12月期第3四半期 決算概要 3

2023年12月期第3四半期 経営成績	4
2023年12月期第3四半期 販売状況	5
連結売上高の地域別増減（円換算ベース）	6
連結営業利益の増減	7
四半期別業績推移	8
セグメント別経営成績	9
セグメント別売上高実績（地域別）	10

2. 2023年12月期 業績予想 11

2023年12月期 通期予想	12
連結売上高の地域別増減予想（円換算ベース）	13
連結営業利益の増減予想	14
売上高予想（セグメント・地域別）	15
設備投資・研究開発費・減価償却費	16
業績推移	17
株主還元政策	18
TOPICS①	19
TOPICS②	20
やまびこの存在意義	21

APPENDIX 22

会社概要	23
やまびこの歩み	24
業績推移と売上構成	25
事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	26
事業セグメント：農業用管理機械	27
事業セグメント：一般産業用機械	28
国内生産体制	29
海外生産体制	30
販売体制	31
主要販売子会社：やまびこジャパン株式会社	32
主要販売子会社：エコー・インコーポレイテッド	33
主要販売子会社：やまびこヨーロッパ・エス・エイ	34
主な販売経路	35
国内・海外のユーザー	36

1

2023年12月期 第3四半期 決算概要

2023年12月期第3四半期 経営成績

- 売上高は前年同期比で減収。海外は一般産業用機械が大幅な増収となったものの、主力のOPE販売が減少。国内は農林事業の低迷に加えて、一般産業用機械も溶接機の販売不振が影響し減収。
- 生産拠点の戦略的再配置に伴う費用の発生もあったが、営業利益は北米子会社での在庫販売の進捗や、国内外での価格改定、アクセサリ類の増販、物流コストの大幅な低下が寄与し増益。円安の追い風もあり、経常利益および最終利益も増益となり、いずれも過去最高益となった。

(百万円)	22/12期 3Q実績	構成比 (%)	23/12期 3Q実績		
			構成比 (%)	前年比 (%)	
売上高	121,610	100.0	117,821	100.0	▲ 3.1
売上原価	88,576	72.8	80,146	68.0	▲ 9.5
販管費	23,558	19.4	24,421	20.7	+ 3.7
営業利益	9,475	7.8	13,253	11.2	+ 39.9
経常利益	11,022	9.1	13,796	11.7	+ 25.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,198	6.7	9,051	7.7	+ 10.4

■ 為替レート

1ドル	125 円	138 円	+ 10.1
1ユーロ	135 円	148 円	+ 9.5

2023年12月期第3四半期 販売状況

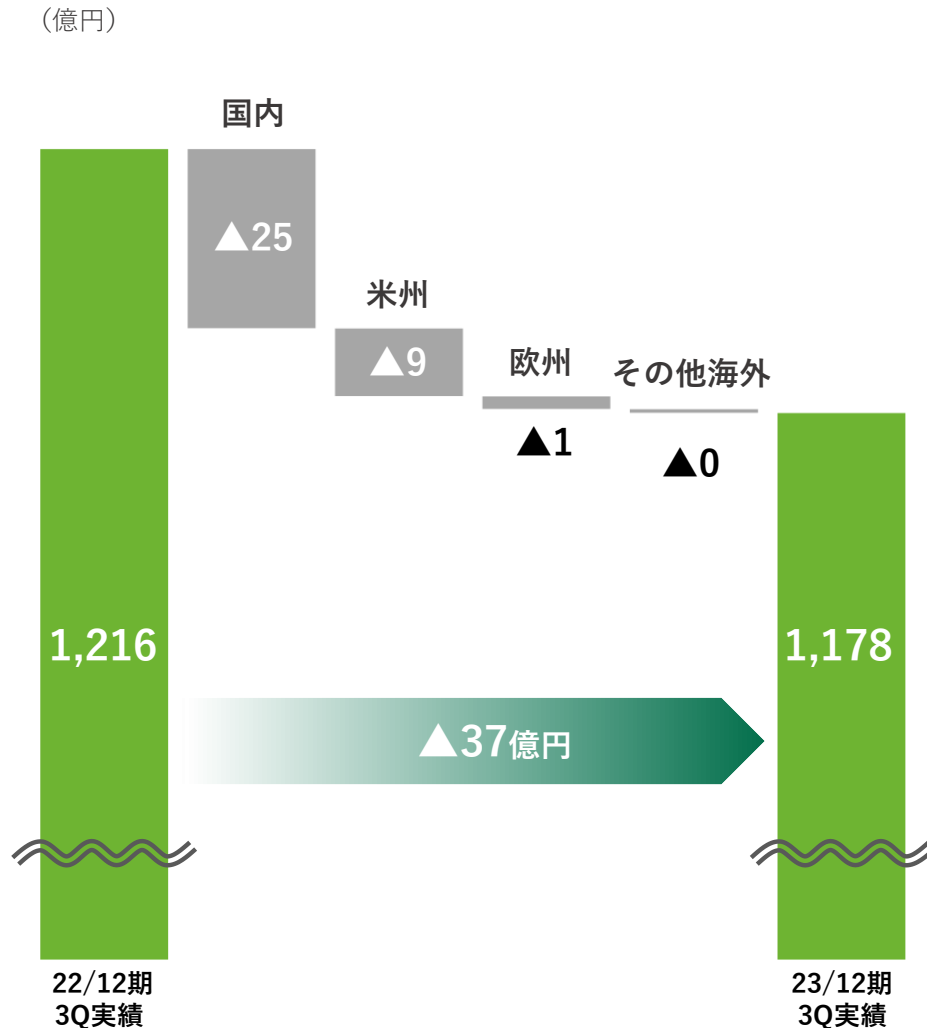
- 海外OPEは巣籠需要の反動減から回復も見られたが、天候不順や金利上昇の影響を受け減収。
- 海外一般産業用機械は北米で発電機の好調な販売が継続し、大幅な増収。
- 国内農林事業は、ラジコン草刈機の新製品販売が好調も、肥料・燃料価格の高騰や長引く猛暑が影響し減収。

市場	セグメント		前年同期比※1	当社販売状況
海外	小型屋外作業機械 (OPE) ※2	北米市場	▲ 10.8%	ホームセンターで改善が見られたものの、北米での金利上昇を受けて、代理店・販売店が在庫圧縮に動いていることから販売が減少。
		欧州市場	▲ 10.9%	引き続き各国での干ばつなどの天候不順の影響を補うことができず減収。
	農業用管理機械		+ 1.1%	引き続き高値安定で推移した穀物価格市場に支えられ、高い需要が継続するなかで、部品調達遅延が解消され始めたことで、ポテト関連製品などの販売が好調に推移し増収。
	一般産業用機械		+ 39.2%	北米市場での旺盛な建設・エンターテイメント需要を背景に発電機の好調な販売が継続したことにより大幅な増収。
国内	小型屋外作業機械		▲ 6.6%	肥料・燃料価格の高騰による農業従事者の購買意欲の減退や、長引く猛暑が影響し販売が減少。
	農業用管理機械		▲ 8.1%	ラジコン草刈機の新製品は好調も、使用者の高齢化もあり傾斜地での重大事故が続くスピードスプレーヤにおいて、更なる安全対策を講じるために販売停止したことなどが影響し減収。
	一般産業用機械		▲ 9.1%	発電機の部品調達遅延が解消され始めたことで販売が伸長したものの、溶接機の販売不振や新製品の販売遅延の影響を補うことができず減収。

※1 為替の影響を除いた売上増減率

※2 「OPE」 = Outdoor Power Equipment

連結売上高の地域別増減（円換算ベース）



国内

肥料・燃料価格の高騰、および猛暑により農林事業が低迷したほか、一般産業用機械も発電機が堅調に推移したものの、溶接機の販売不振が影響し減収。

米州

北米市場において、一般産業用機械が旺盛な建設・エンターテインメント需要を背景に発電機の好調な販売が継続した。一方で、主力のOPEは金利上昇に伴う代理店・販売店の在庫圧縮により販売が減少。

欧州

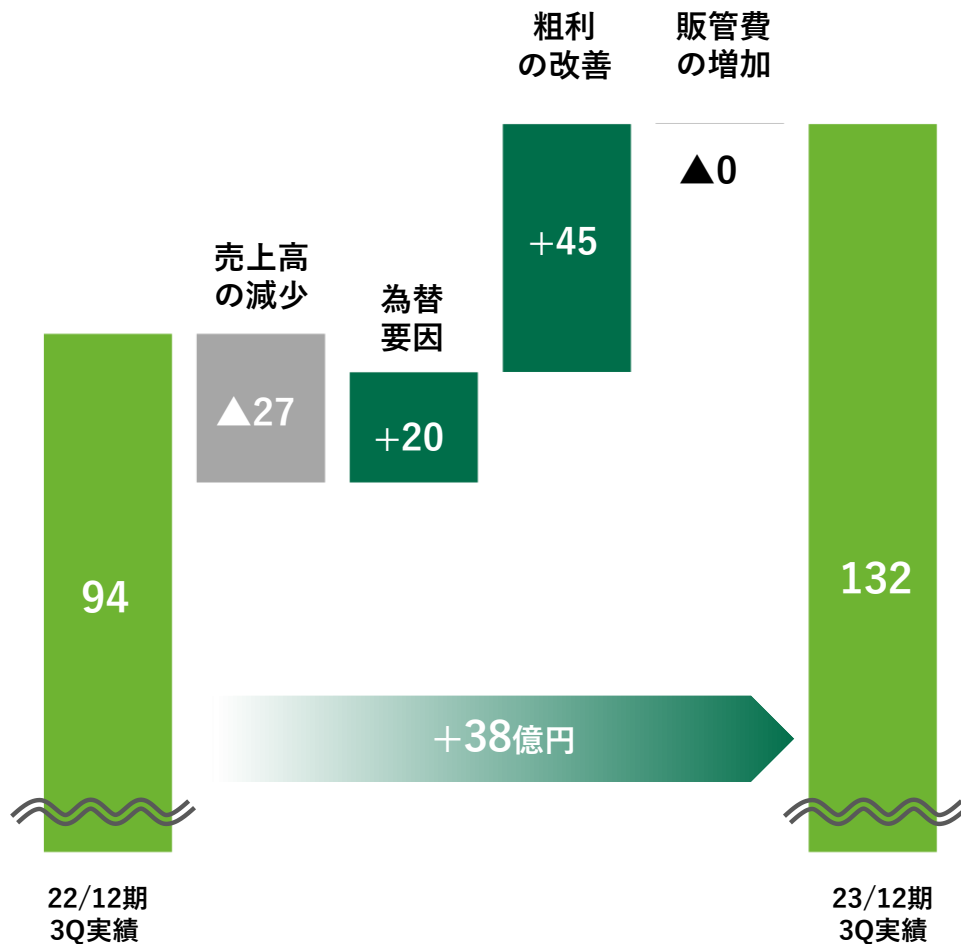
各国で続いた干ばつなど天候不順の影響を受けて、OPE販売が減少。

その他海外

オセアニアで一般産業用機械の販売が伸長したが、アジア、アフリカおよびオセアニアでOPEの販売が減少し、減収。

連結営業利益の増減

(億円)



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の減少による利益減。

為替要因

継続する円安が利益増加に寄与。

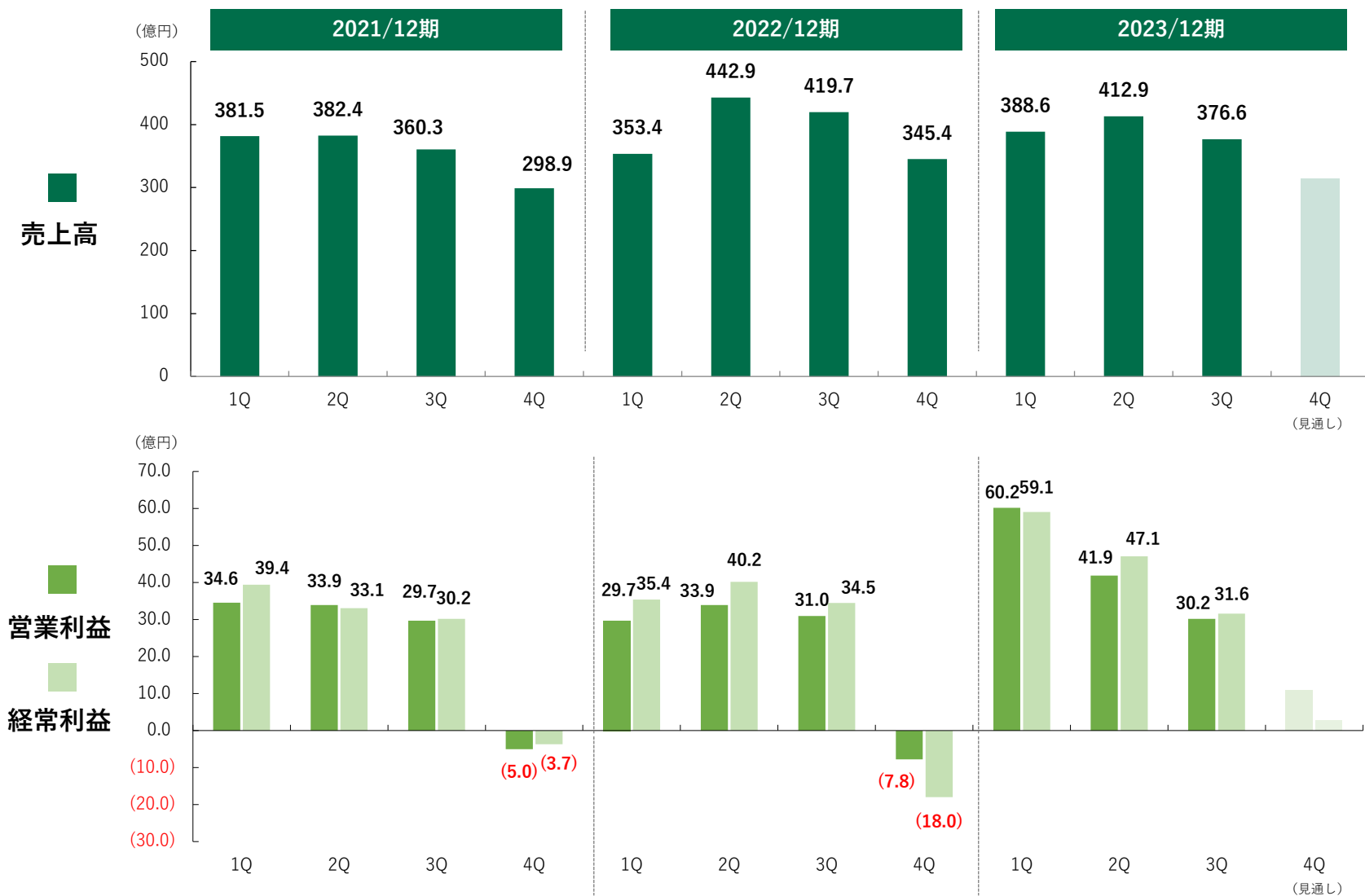
粗利

前期に積み上がった北米子会社の在庫販売が順調に進捗。価格改定やアクセサリー・サービス部品の増販等も粗利の改善に寄与。

販売管理費

主に人件費の増加など。

四半期別業績推移



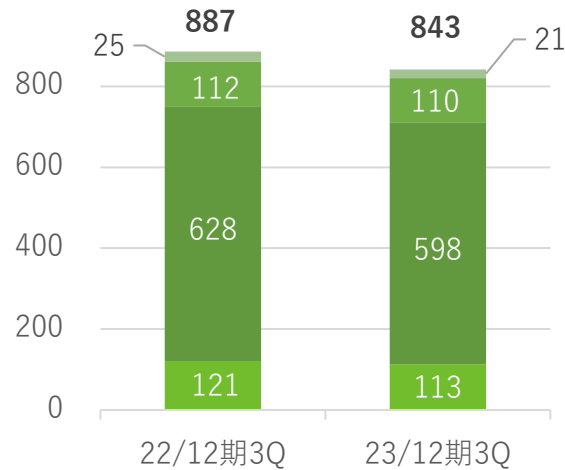
セグメント別経営成績

(百万円)	22/12期 3Q 実績		23/12期 3Q 実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	121,610	100.0	117,821	100.0	▲ 3.1
小型屋外作業機械	88,730	73.0	84,380	71.6	▲ 4.9
農業用管理機械	19,802	16.3	19,257	16.3	▲ 2.8
一般産業用機械	11,634	9.6	12,735	10.8	+ 9.5
その他	1,443	1.2	1,447	1.2	+ 0.3
営業利益	9,475	-	13,253	-	+ 39.9
小型屋外作業機械	13,539	142.9	17,123	129.2	+ 26.5
農業用管理機械	861	9.1	1,546	11.7	+ 79.4
一般産業用機械	931	9.8	1,609	12.1	+ 72.7
その他	266	2.8	285	2.2	+ 7.0
全社共通費	▲6,124	-	▲7,311	-	-

セグメント売上高実績（地域別）

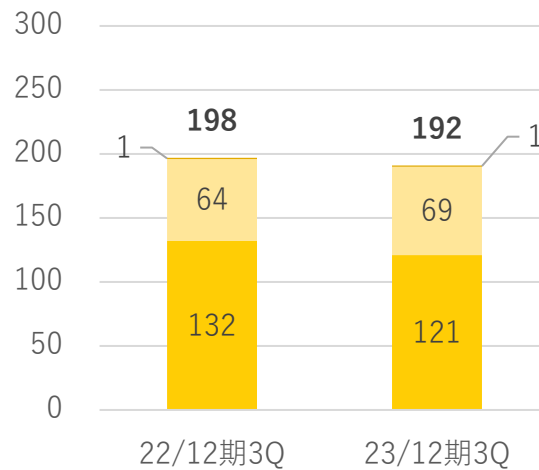
(単位：億円)

小型屋外作業機械（OPE）



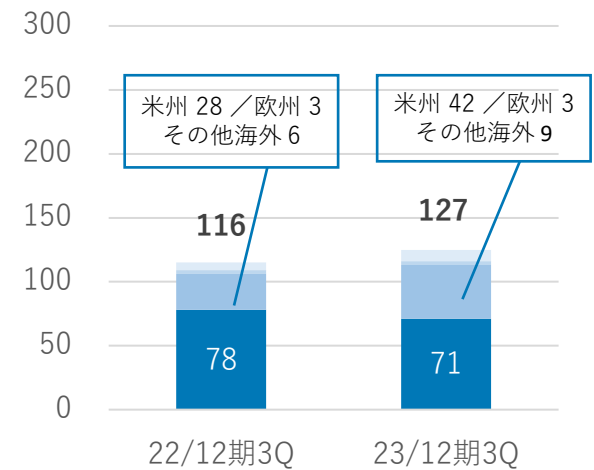
■ 国内 ■ 米州 ■ 欧州 ■ その他海外

農業用管理機械



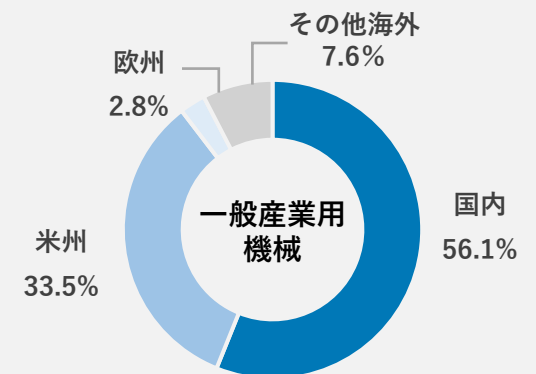
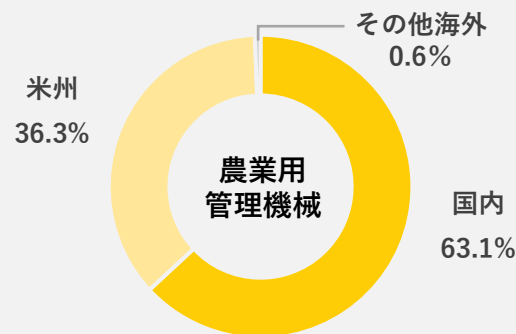
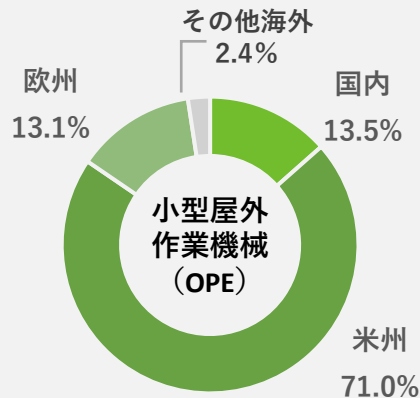
■ 国内 ■ 米州 ■ その他海外

一般産業用機械



■ 国内 ■ 米州 ■ 欧州 ■ その他海外

地域別比率（2023年12月期第3四半期）



2

2023年12月期 業績予想

2023年12月期 通期予想

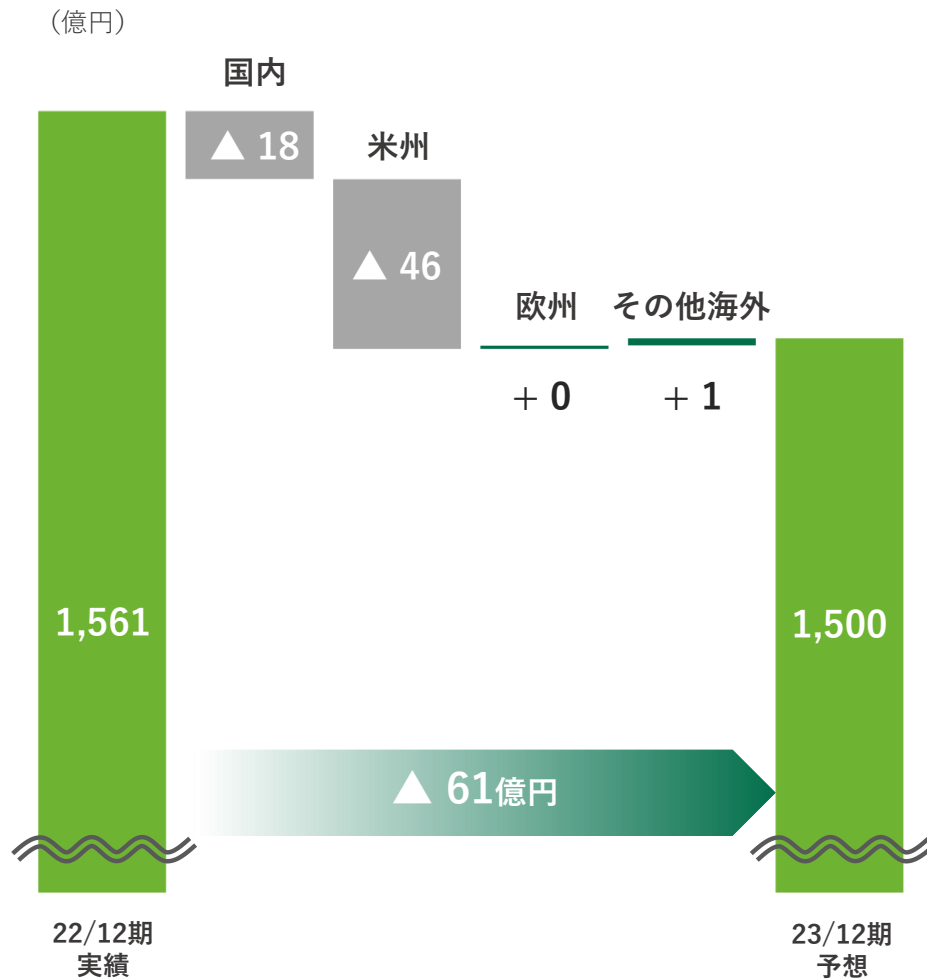
- 売上高は、前回の見通し公表時（8月10日）から更に円安ドル高が進行したことを受けて、30億円増の1,500億円に上方修正。
- 損益面についても、想定以上の物流コストの減少に加え、一部原材料価格の低下、北米OPE事業における売上構成の変化による利益率の改善もあり、前回公表時から営業利益を135億円、経常利益を132億円、最終利益を86億円に上方修正。

(百万円)	22/12期 実績	構成比 (%)	23/12期			23/12期 前回予想	23/12期 期初予想
			予想	構成比 (%)	前年比 (%)	8月10日発表	2月13日発表
売上高	156,159	100.0	150,000	100.0	▲ 3.9	147,000	157,000
売上原価	115,664	74.1	103,000	68.7	▲ 10.9	101,000	109,000
販管費	31,806	20.4	33,500	22.3	+ 5.3	33,500	34,500
営業利益	8,688	5.6	13,500	9.0	+ 55.4	12,500	13,500
経常利益	9,217	5.9	13,200	8.8	+ 43.2	12,200	12,800
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,299	4.0	8,600	5.7	+ 36.5	7,600	8,300

■ 為替レート

1ドル	128 円	140 円	+ 9.2	135 円	130円
1ユーロ	138 円	150 円	+9.0	150 円	140円

連結売上高の地域別増減予想（円換算ベース）



国内

継続する肥料・燃料価格高騰の影響を受けて、引き続き農業従事者の購買意欲低下が想定されることから、農家向け販売の減少による減収を見込む。

米州

北米市場において一般産業用機械販売の増加を見込むものの、OPEでは代理店等の在庫圧縮の継続が見込まれることから販売が減少し、減収を見込む。

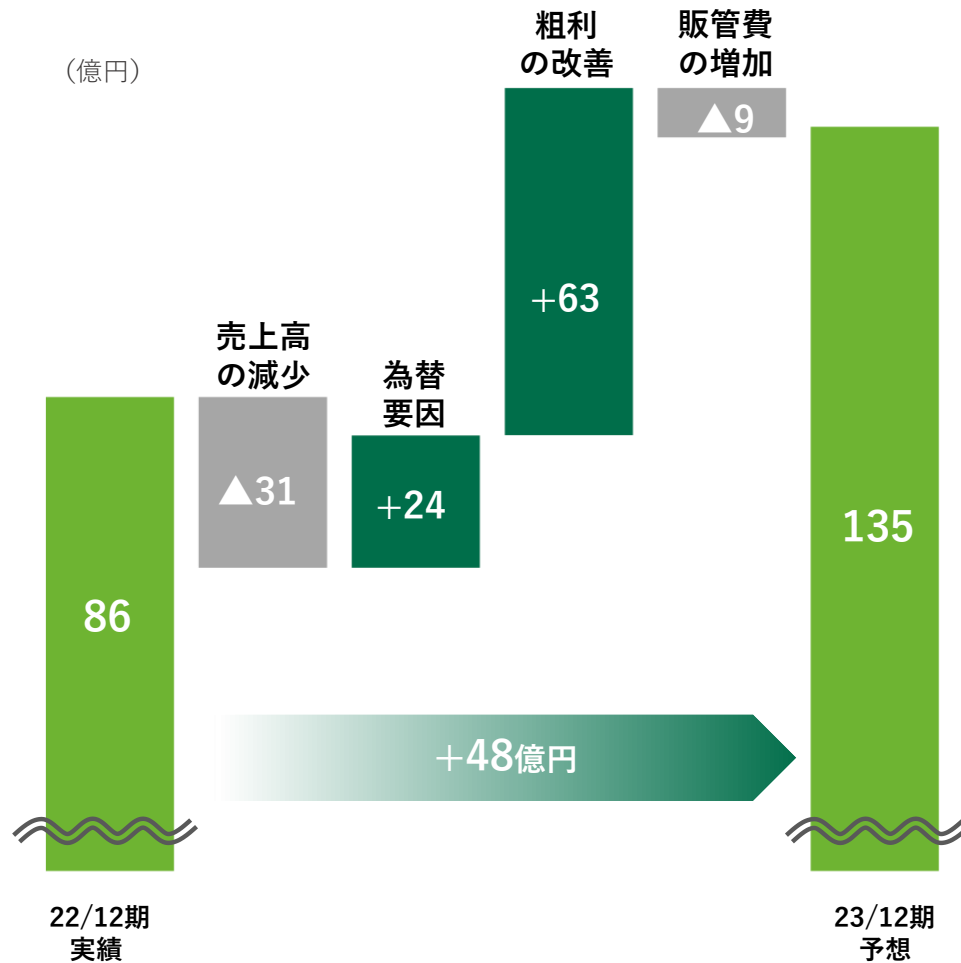
欧州

干ばつ等の天候不順の影響を受けるものの、円安による為替効果もあり、前年並みの水準に。

その他海外

中近東向けのOPE販売およびオセアニア向けの一般産業用機械販売の増加による増収を見込む。

連結営業利益の増減予想



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の減少による利益減。

為替要因

継続する円安が利益増加に寄与。

粗利

前期に積み上がった北米子会社の在庫販売が順調に進捗。価格改定やアクセサリ・サービス部品の増販等も粗利の改善に寄与。

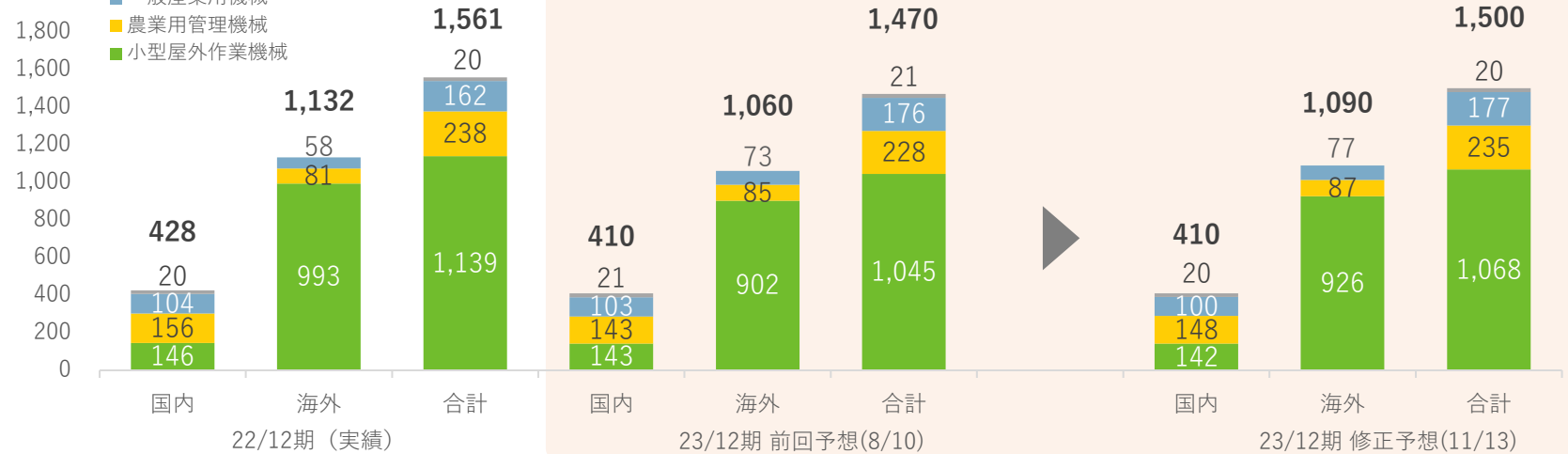
販売管理費

国内と北米の人件費と開発・IT関連費用の増加など。

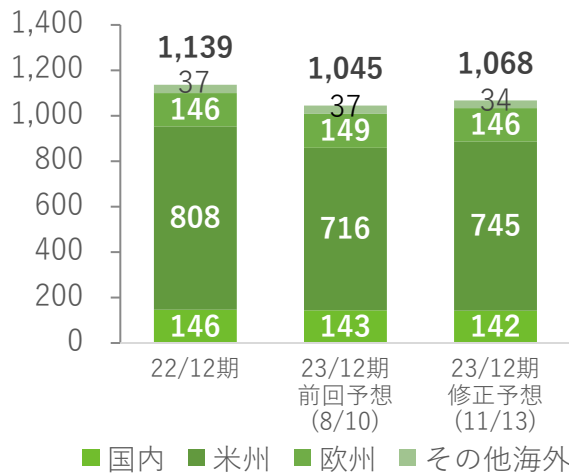
売上高予想（セグメント・地域別）

(億円)

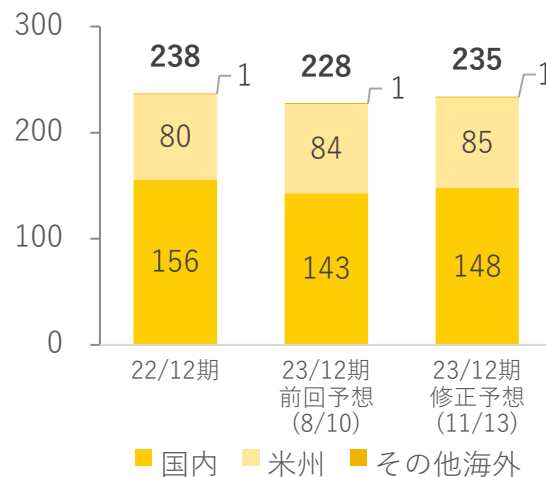
- その他
- 一般産業用機械
- 農業用管理機械
- 小型屋外作業機械



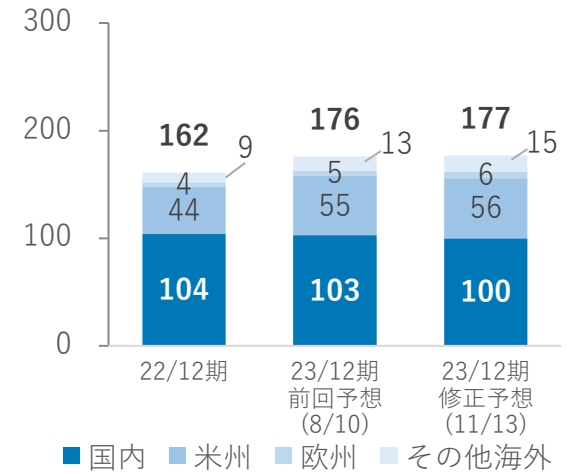
小型屋外作業機械



農業用管理機械

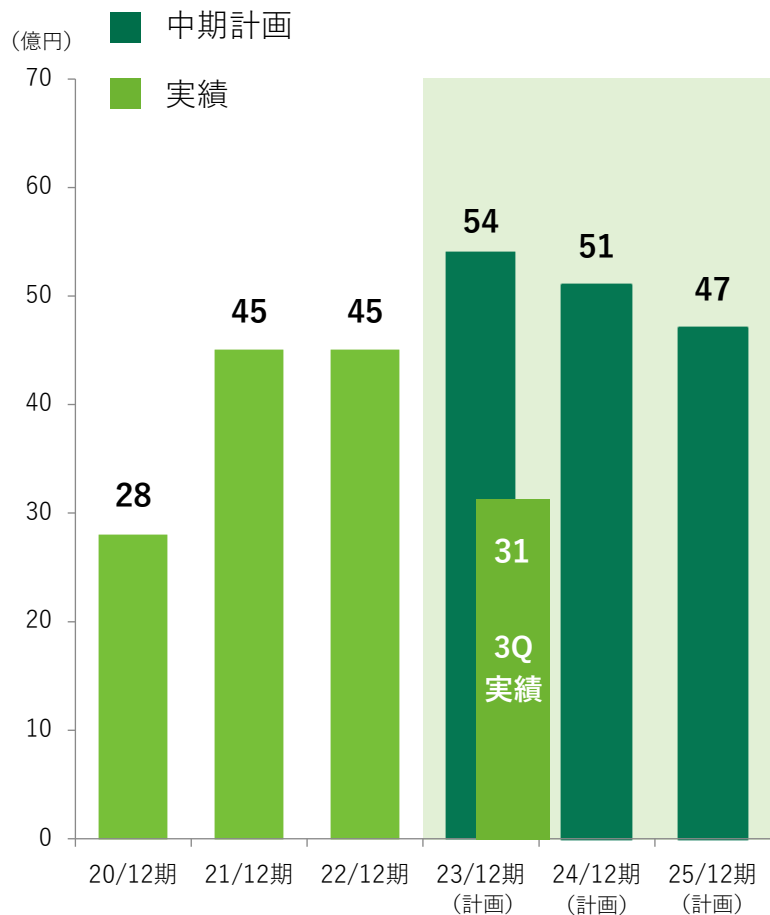


一般産業用機械

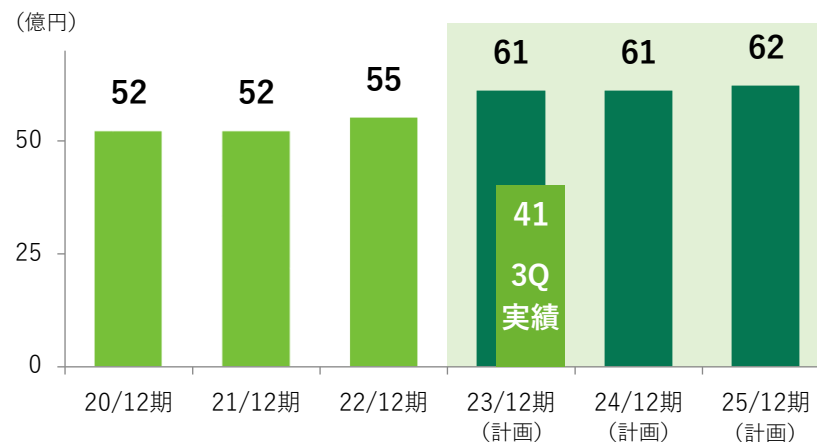


設備投資・研究開発費・減価償却費

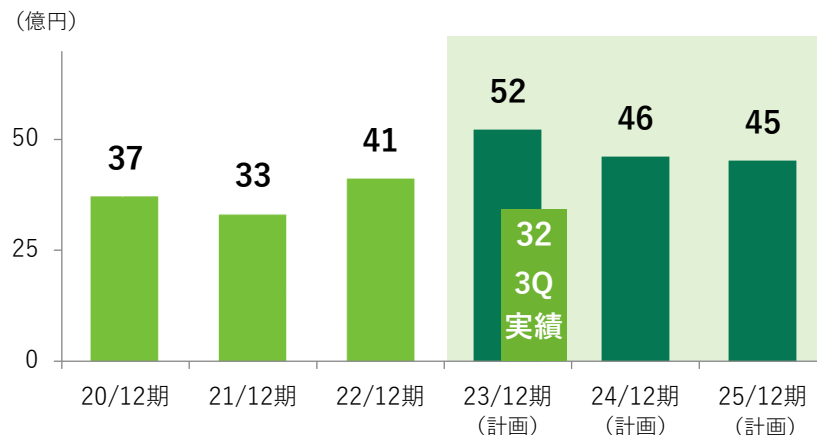
設備投資



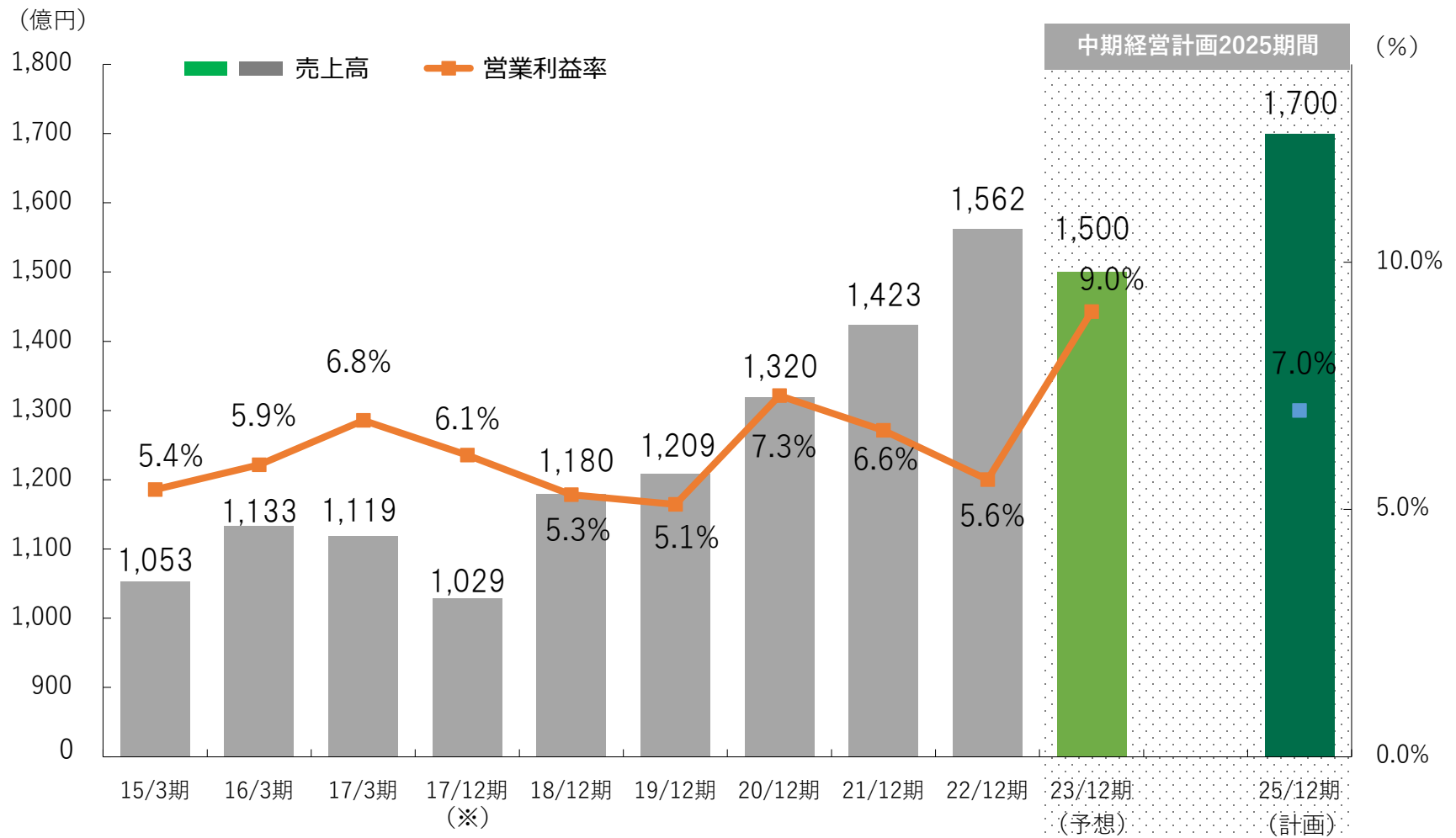
研究開発費



減価償却費



業績推移

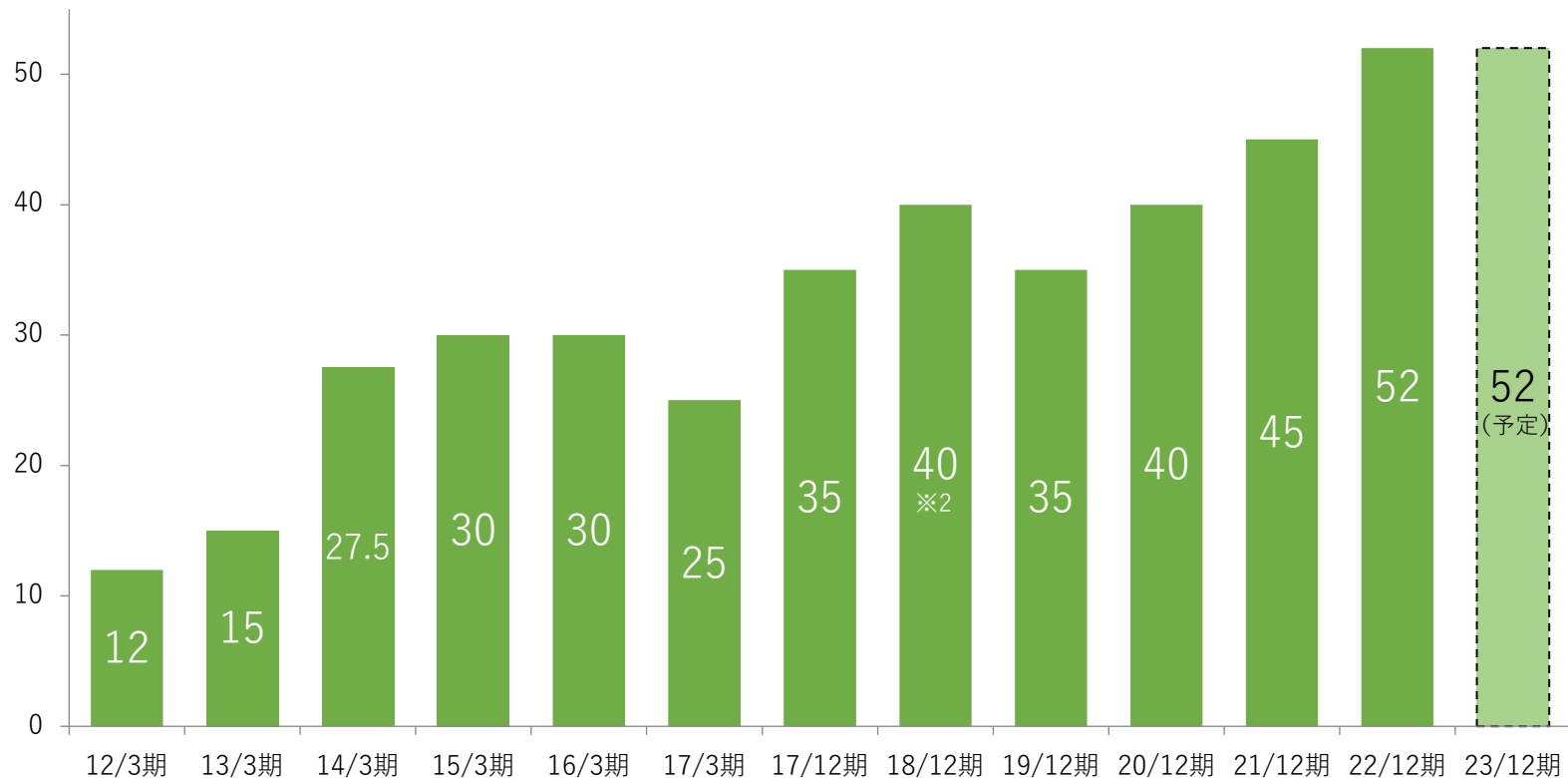


(※) 17/12期は決算期変更のため9ヶ月決算

株主還元政策

過去の配当実績に基づき、安定的な配当を継続

- 経営環境や業績および財務状況を勘案するとともに、株式市場の動向も注視して総合的な還元策を検討



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。

※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

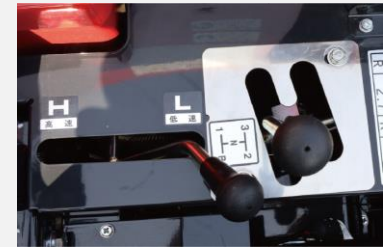
TOPICS①

安全・安心なものづくり

- 近年、使用者の高齢化の影響もあり傾斜地の作業などで重大事故が発生していたスピードブレーキの安全性を向上。
- 可倒安全フレームを全車に標準装備するほか、フレームを倒した状態では高速走行ができない「予防安全機構」を搭載し、二重の安全対策を採用。



可倒安全フレームを
全車に標準搭載



フレームが倒れた状態では
高速走行ができない
「予防安全機構」を搭載

バッテリー製品の拡充

- エンジンツールで培った技術をベースに、プロが満足する機能・性能を実現。エンジンタイプの力強さと、バッテリータイプの機動力をあわせ持つ「ハイボルテージ50Vシリーズ」を展開。
- 高出力な50Vバッテリーを従来の小型屋外作業機械の製品群から、シリーズハイブリッドシステムを活用した自律走行作業機等に開発領域を拡大。各種作業機のバッテリー化を加速すべく協業企業様との連携。コンセプトモデルは農業WEEKで展示。



協業企業様のバッテリー
コンセプトモデル



第13回農業WEEK

TOPICS②

EQUIP EXPO 出展

- 米国で開催された世界最大の庭園管理機械見本市である「EQUIP EXPOSITION 2023」に出展。
- エンジンや電動といった動力源で分類せずに、チェーンソーやパワーブロウといった製品グループごとに展示。世界トップブランドのひとつである「ECHO」に期待するお客様が、作業環境や用途などそれぞれのニーズに応じて選択いただけるよう提案し、プロユーザー様より評価されています。



「EQUIP EXPOSITION 2023」
多くのお客様に来場いただきました

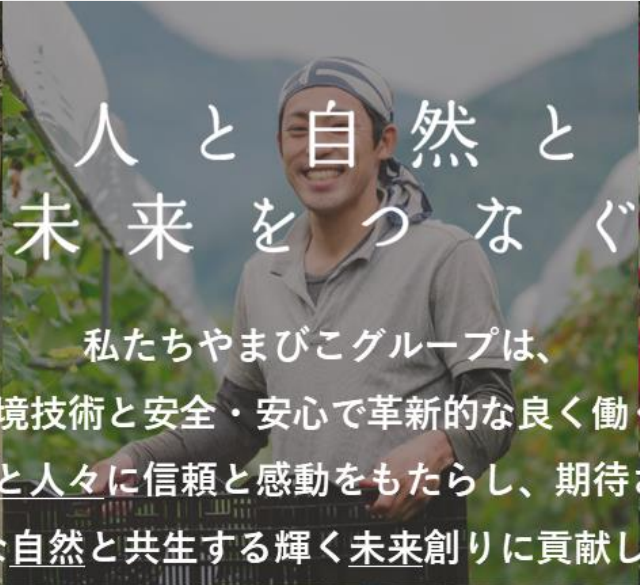
生産拠点の戦略的再配置（北米現地生産の拡大）

- 2021年に取得したエコー・インコーポレイテッドの隣接地への設備投資に来期から着手。安定したインフラ需要の続く北米市場において、大型ディーゼル発電機等の現地生産を開始します。



エコーインク建屋には太陽光パネルを設置し
再生可能エネルギー利用を積極的に推進

やまびこの存在意義



人と自然と
未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。



やまびこグループは設立15年を迎えました。企業理念の下、
ビジョン2030実現に向けて“変革”と“スピード実行”に邁進いたします

APPENDIX

会社概要

会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	156,159百万円 (2022年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	14社※ (国内6社・海外8社/2022年12月末現在)
従 業 員 数	3,295名 (2023年9月末現在/連結)
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2023年6月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社1社を除く

やまびこの歩み



世界初となる手持ちブロウに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ **ECHO**



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ

shindaiwa

ECHO

E 株式会社 **共立**

設立 1947年 (昭和22年)

YAMABIKO

株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)

新タイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

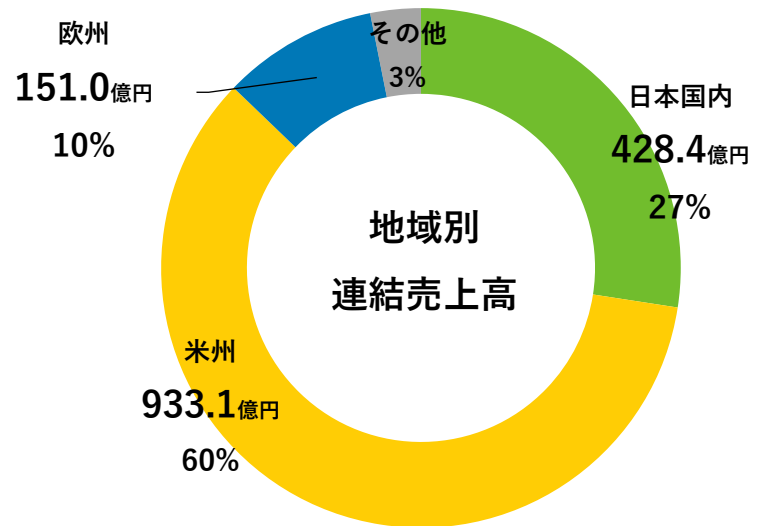
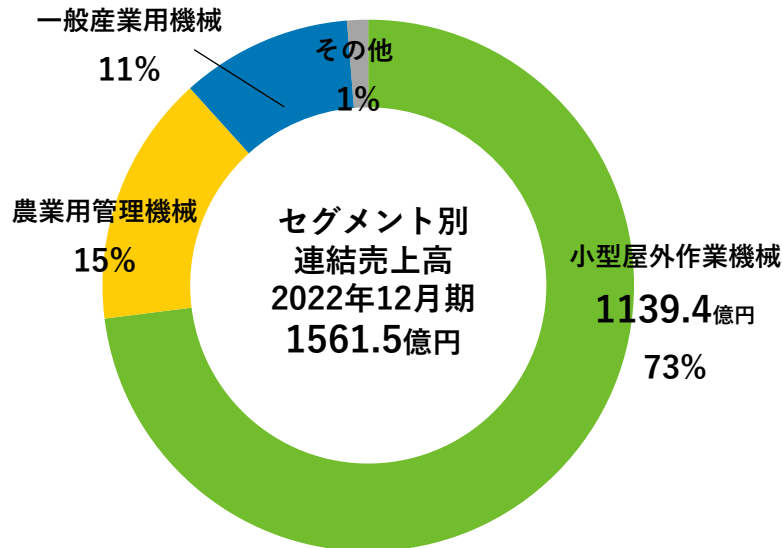
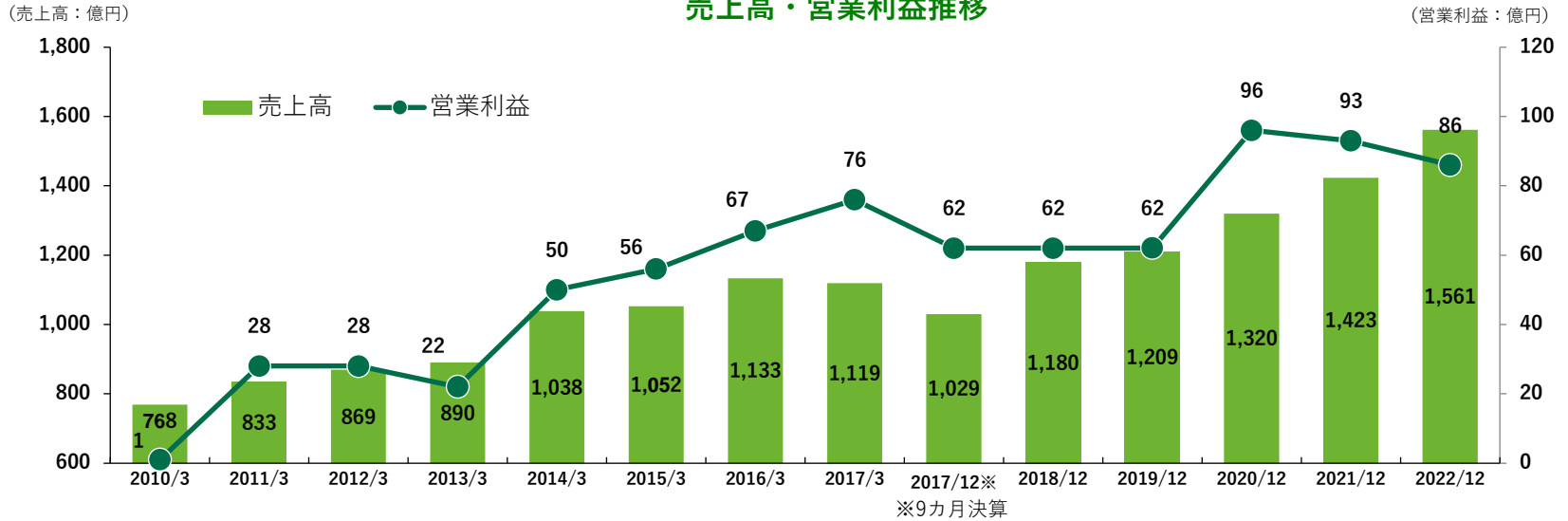
shindaiwa

社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

業績推移と売上構成

売上高・営業利益推移



事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）



売上高構成比

73.0%

（2022年12月期）

国内は農家・林業家の芝刈や伐木用として、海外はOPE※と称され、主に緑地管理を事業とする専門業者が庭や緑地の管理に使用する作業機として販売

海外においては造園業など緑地管理を事業とする専門業者向けのプロユーザー市場と主に自家用で使用する住宅所有者向けの一般ユーザー市場に分類

製品は動力源にエンジンやモーターを搭載した屋外作業機のほか、ロボット芝刈機も含む



市場ニーズを満たす製品開発力

- 動力源を問わず、プロユーザー向けの高い作業効率を持つ製品を開発



$$\text{出力} \times \text{作業時間} = \text{仕事量}$$

技術的な強み

高品質・環境規制に適合したエンジン

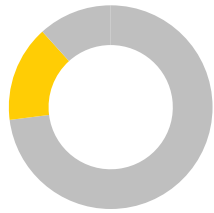
- 小型・軽量・高出力(手持機械に最適)・低コスト
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

環境負荷低減と作業性の両立

- プロサイドに立った出力・制御技術に優れる電動製品
- 化石燃料から代替燃料への適用技術

※Outdoor Power Equipment

事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

15.3%

(2022年12月期)

国内における防除機械、
北米における
農作物収穫機械の製造販売



乗用管理機



スピードスプレーヤ



畦草刈機



ポテト収穫機（北米）

技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、 スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

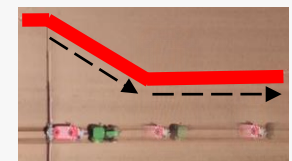


やまびこノズルの
噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径
110~270 ミクロン）

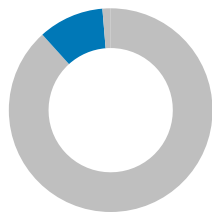


ICT

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



事業セグメント：一般産業用機械

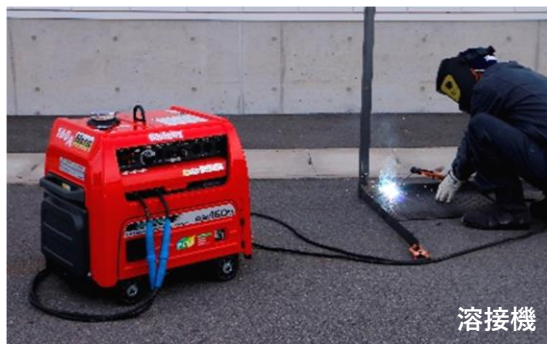


売上高構成比

10.4%

(2022年12月期)

建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる
機械の製造販売



溶接機

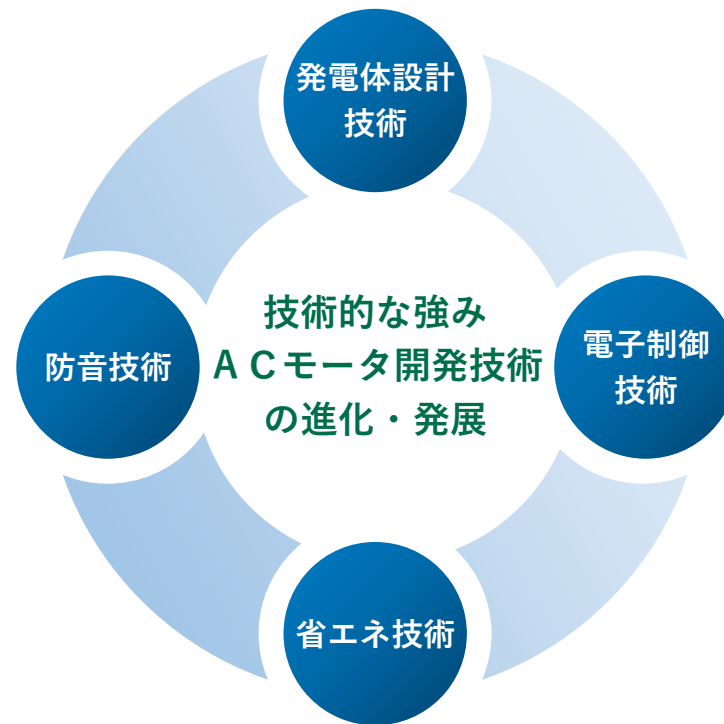


発電機



投光器

技術的な強み

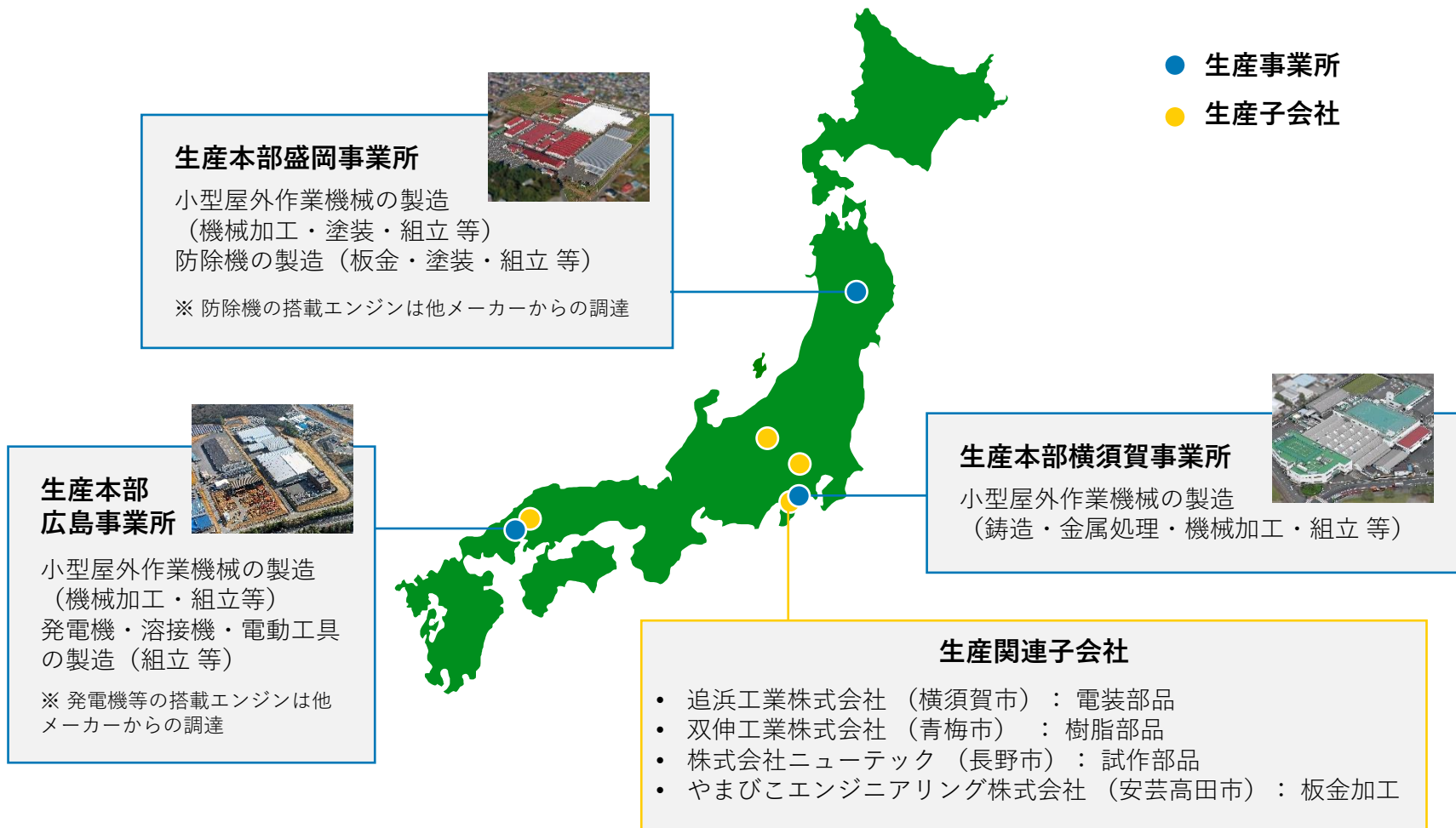


世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)

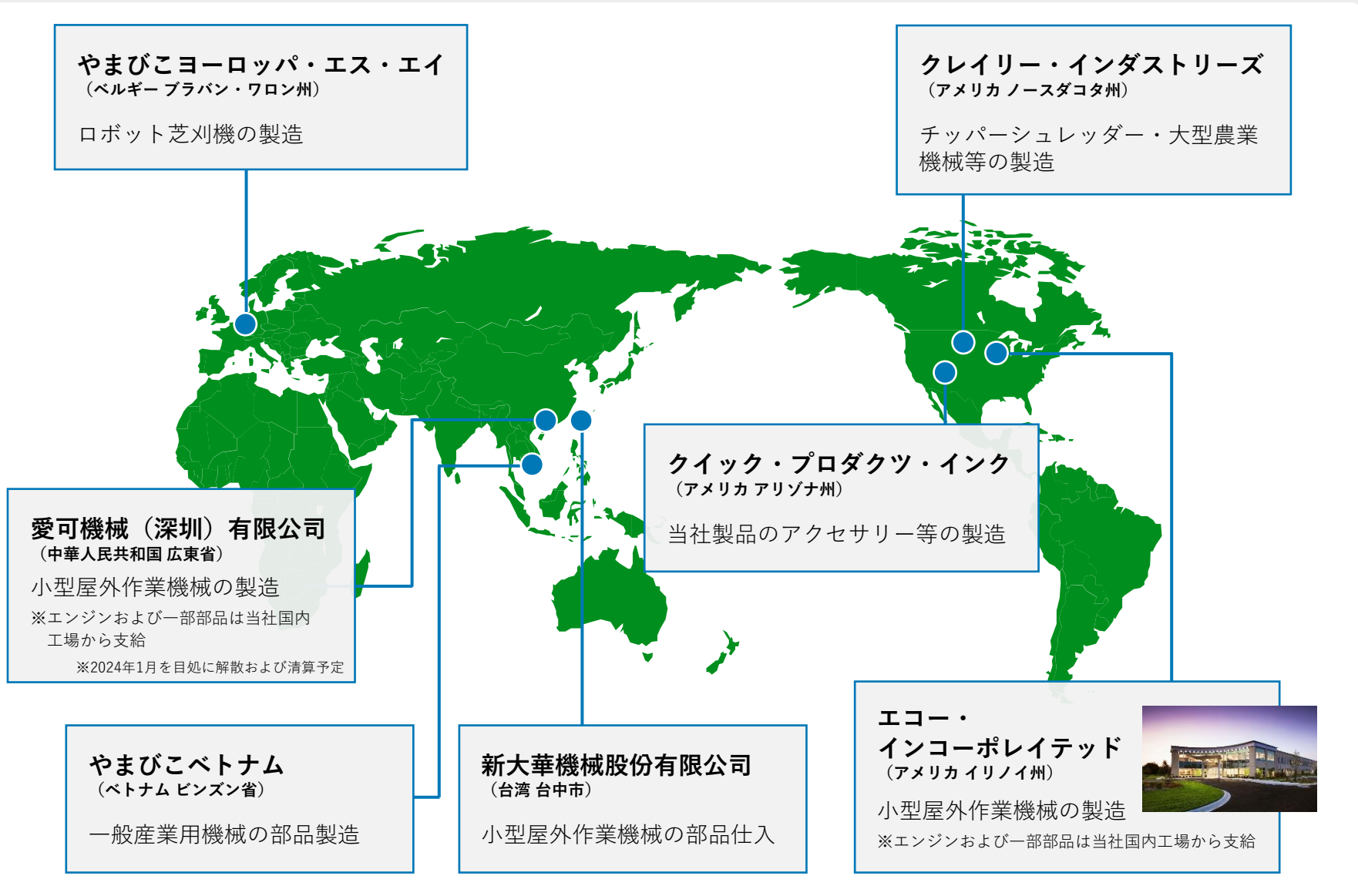


「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた2つのエコ機能の開発

国内生産体制



海外生産体制



やまびこヨーロッパ・エス・エイ
 (ベルギー ブラバン・ワロン州)
 ロボット芝刈機の製造

クレイリー・インダストリーズ
 (アメリカ ノースダコタ州)
 チッパーシュレッダー・大型農業機械等の製造

愛可機械（深圳）有限公司
 (中華人民共和国 広東省)
 小型屋外作業機械の製造
 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
 ※2024年1月を目処に解散および清算予定

クイック・プロダクツ・インク
 (アメリカ アリゾナ州)
 当社製品のアクセサリ等の製造

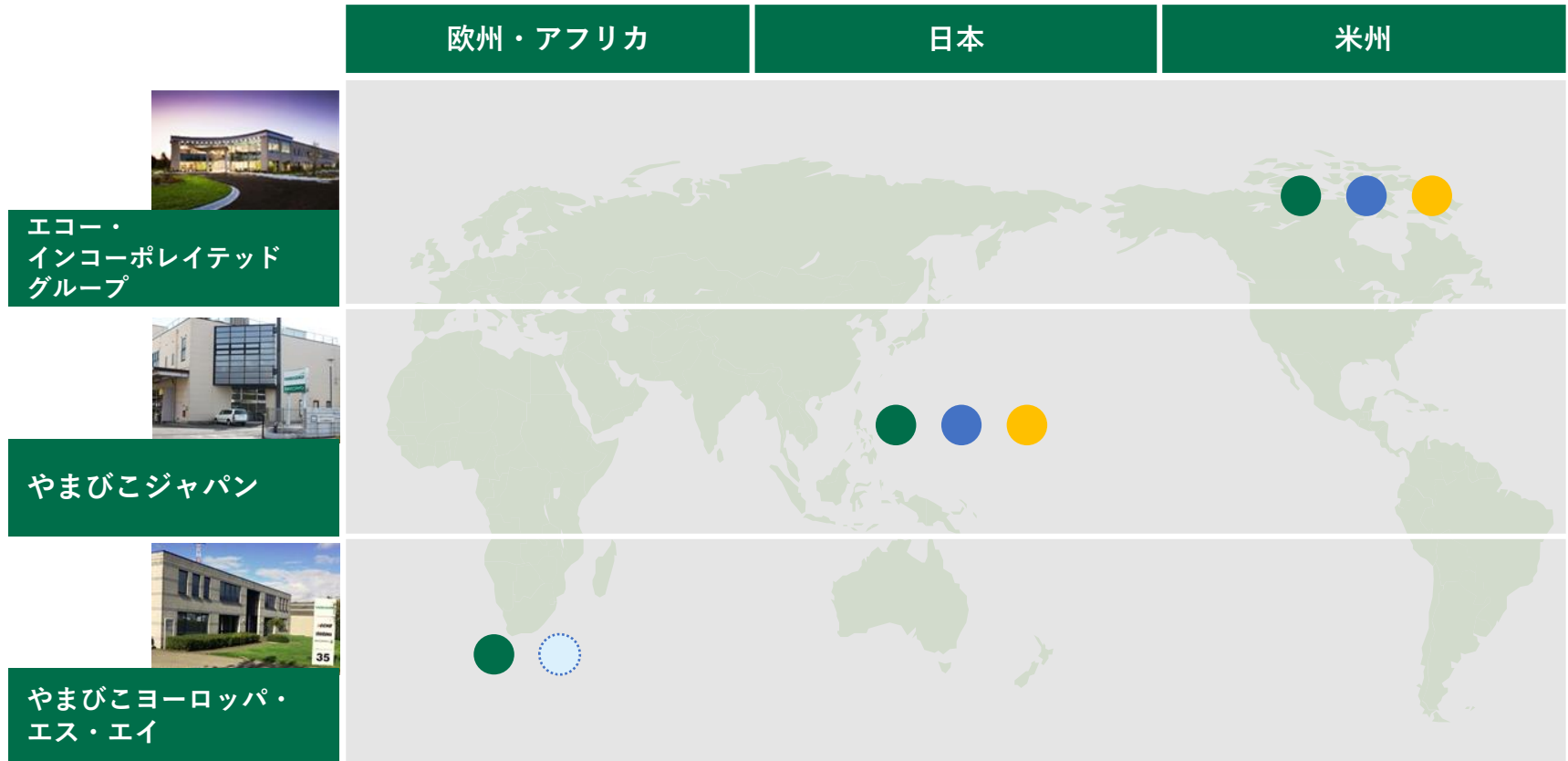
やまびこベトナム
 (ベトナム ビンズン省)
 一般産業用機械の部品製造

新大華機械股份有限公司
 (台湾 台中市)
 小型屋外作業機械の部品仕入

エコー・インコーポレイテッド
 (アメリカ イリノイ州)
 小型屋外作業機械の製造
 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給



販売体制



● 小型屋外作業機械 (Outdoor Power Equipment)
 ● 一般産業機械
 ● 農業用管理機械

※アジア・中東・オセアニア地域にはやまびこ本社から販売

主要販売子会社

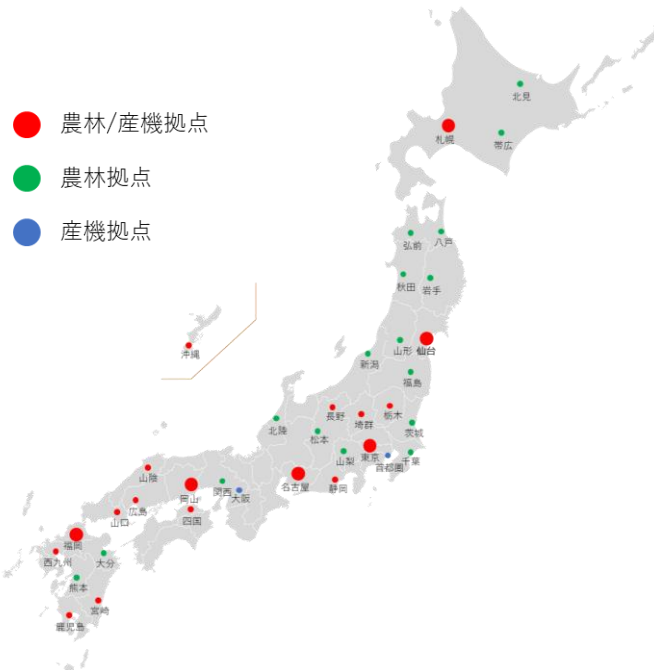
やまびこジャパン株式会社

会社名 やまびこジャパン株式会社
 設立 2017年6月
 本社 東京都青梅市
 拠点 6支社 37拠点

日本市場における販売拠点

多様な販売ルートと充実の営業体制で
 3事業3ブランドの販売を担う

国内販売拠点一覧



充実した営業体制

- 共立・新ダイワ・エコーの3ブランドを販売
- 国内6支社、37拠点の充実した営業体制
- 全社員の7割が営業・サービスに従事

セールス＝エンジニアとして迅速なサービス提供

- 高い専門性を有する社員がアフターサービスまで一貫して対応
- 農機具販売店やホームセンター、建機レンタル会社などの幅広い販売ルートを通じて多くのお客様に製品を提供

主要販売子会社



会社名 エコー・インコーポレイテッド
 設立 1972年11月
 本社 アメリカ・イリノイ州
 子会社 4社

エコー・インコーポレイテッドグループ

クレイリー・インダストリーズ
(アメリカ ノースダコタ州)
 大型農業機械等の製造・販売

エコーパワーイクイップメント
(カナダ オンタリオ州)
 小型屋外作業機械・農業機械の販売

ゴールデンイーグル
 ディストリビューティング
(アメリカ カリフォルニア州)
 小型屋外作業機械の販売

クイック・プロダクツ・インク
(アメリカ アリゾナ州)
 当社製品のアクセサリー等の製造

エコー・
 インコーポレイテッド
(アメリカ イリノイ州)
 小型屋外作業機械・一般産業用機械の
 製造・販売



米州で50年続くECHOブランド

OPE・産業機械・大型農機用補助機の 製造・販売拠点

やまびこグループ最大の販売会社

- 1972年の設立以来、米州市場で小型屋外作業機械を販売
グループ売上高の6割を占める（2022年実績）

OPE市場をリードするECHOブランド

- パワーブロウ（1978年）や芝生の溝切機（1990年）など
世界初となる製品を投入し常に市場をリード
- 「Xシリーズ」をはじめプロユーザーから信頼を集める



世界初のパワーブロウ



プロ向け製品群「Xシリーズ」

主要販売子会社

YAMABIKO EUROPE SA

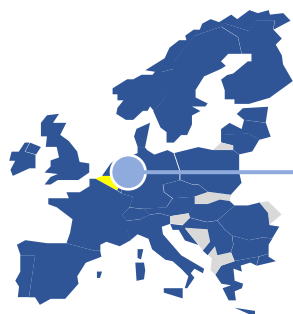
会社名 やまびこヨーロッパ・エス・エイ

設立 2002年3月

本社 ベルギー・ブラバン・ワロン州

欧州地域の販売拠点

欧州・アフリカの34か国に販売



やまびこヨーロッパ・エス・エイ

自動芝刈機の製造・販売
および小型屋外作業機械の販売



欧州地域のOPE販売とロボット開発拠点

2021年に完全子会社化 欧州販売戦略を推進し売上拡大を図る

ベルギーから欧州全域へ展開

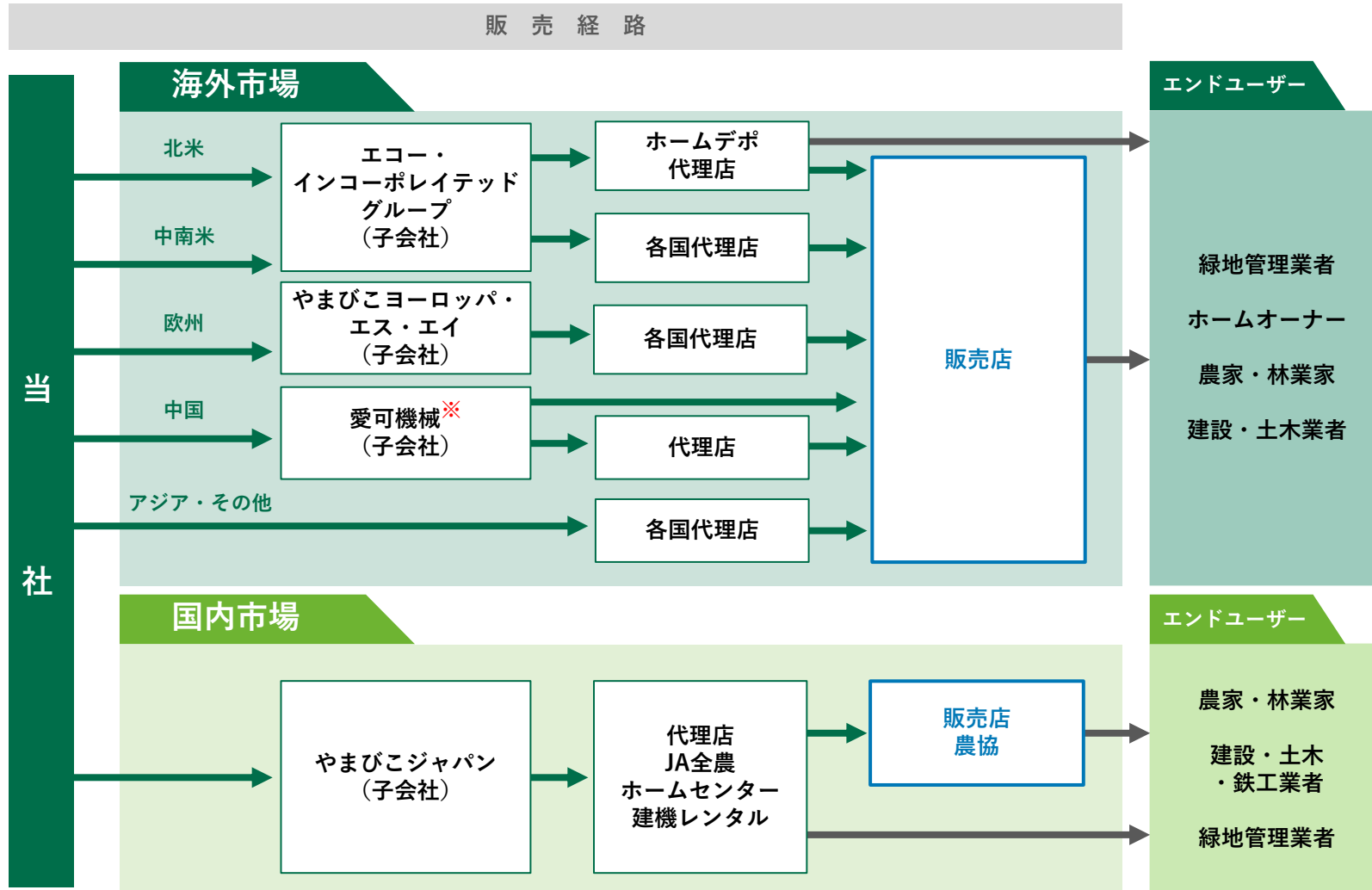
- 欧州・アフリカの34か国でOPE製品を販売
- 統一した販売戦略と代理店・販売店サポートにより更なる売上拡大を図る

お客様の声を取り入れた開発・販売体制

- ロボット芝刈機の普及が進む欧州でマーケットインの開発を行い、業界をリードするロボット芝刈機を開発・販売



主な販売経路



※2024年1月を目処に解散および清算予定

国内・海外のユーザー

国内エンドユーザー



農家

建設・土木・
鉄工業者



林業家

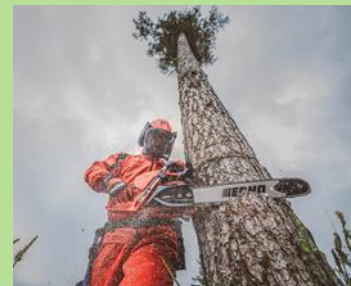
海外エンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業家



建設・土木業者

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp